



や ま だ か ず し げ
山田 一繁

「ヒトは教育によって人間になる」
教育力・学習環境の充実を目指す

学校体育館の空調設置時期は

答弁 工事完了の6月以降、順次使用開始予定

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 近年の夏の暑さは耐え難いほどで、学校体育館への空調設備の設置は早急に取り組まなければならないものだがその設置時期は。

答 安心して授業や部活動に取り組める環境を整備するとともに避難所としての機能もあるので、5月から設置工事に着手し、6月以降設置の完了した学校から順次使用を開始する見込み。

市として目指す児童・生徒の将来像は

問 学習指導要領や学習環境が変わっても、子どもたちに対する教育が持っている普遍的な使命がある。特に小中一貫教育の導入は教育長が就任以来、中心となって取り組んできたもの。そこで

教育長が取り組み、市として目指す児童・生徒の将来像は。

答 「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」は多くの効果が期待できる。しかし、何より大事なのは子どもたちの成長。小中一貫教育を通して年少者の手本たらんと励むことで主体的に学び個々の力をつけ、また、異年齢の児童生徒や地域の方々との交流の中で利他の心を培い、中学校及び義務教育学校を卒業するときには「自らの力と人との絆で未来をつくる」ことができるよう、これからも学校、地域、教育委員会が一体となって日高の教育を充実・発展させていく。



か と う し ょ う ご
加藤 将伍

巾着田の環境保全とにぎわいの創出の両立を目指す

ランドマークとなる店舗誘致の考えは

答弁 インフラの整備を含め検討を進める

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 本来、河川区域では商業利用はできないものと認識。埼玉県が進める「水辺deベンチャーチャレンジ」を活用することで、商業利用をはじめ、利活用の可能性が広がるものという認識でよいのか。

答 実施候補箇所として県の登録を受け、協議会による地域の合意形成を図り、民間事業者による商業利用を含めた河川の利活用が可能となる。

問 「地域の合意形成」には、「原風景の保全・自然環境の保護」と、「にぎわいの創出」の両立が絶対条件。利活用に向けた両立の方策は。

答 使用できる期間やエリアを限定するなど、現在の自然に配慮した取り組みを進める。

問 「入間川にここにテラス」のような、地域のランドマークとなる店舗を誘致する考えは。

答 進入路確保・給排水等のインフラ整備が課題。しかし、持続可能な地域づくりにも大きく寄与するものであり、埼玉県、巾着田利用調整協議会、関係団体等と連携を図り検討を進めていく。

問 商業利用実証実験の際も、事業者から必須条件として意見があったインフラ整備の考えは。

答 歩道と車道の分離などの整備を進めていきたい。給排水設備は、令和7年度に実施する実証実験の結果や地域の皆様のご意見を踏まえ、どのように整備等ができるのか検討を進めていく。